

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立弘前聾	学校
授業について	教科領域名 (<input checked="" type="checkbox"/> 又は <input type="checkbox"/> で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	「夏休みの思い出を発表しよう」		
	単元(題材)の目標	[知識及び技能] 発声や発音に気を付けたり、声の大きさを調節したりして発表することができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] 相手の話に関心をもって聞き、分かったことや感じたことを伝え合うことができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	2 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字タイピングの学習に意欲的に取り組んでおり、1分間で40文字程度の文字を入力することができる。 経験したこと、見聞きしたことに関して、自分の感想や考えたことを話すことに自信をもてないでいる。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	Google フォーム		
	主な活用の用途 (<input checked="" type="checkbox"/> 又は <input type="checkbox"/> で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表を聞いて、評価や感想を記入するため。 友達や教師からの評価や感想をまとめ、集計したものを児童生徒にフィードバックするため。 			
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表を聞いて、「声の大きさ」と「話す速さ」の評価の入力と、話題の概要の内容と感想の記入を Google フォームで行った。 友達や教師から肯定的な評価を多く受けることができたことで、自分の発表の内容や仕方に自信をもつことができた。 			

